

2026年度第1回町田駅周辺帰宅困難者対策協議会 議事要旨

日時	2026年8月19日（水） 10時00分～11時30分
場所	町田市庁舎3階 会議室3-1、3-2、3-3
出席者 (敬称略)	■会長 町田市 防災安全部長 大貫 一夫 ■委員 ・小田急電鉄(株)町田駅 管区長 溝呂木 広明 ・東日本旅客鉄道(株)町田駅 駅長 曾我部 敬 ・神奈川中央交通(株)町田営業所 所長 笹間 貴徳 ・(一社)東京ハイヤー・タクシー協会 三多摩支部 町田地区会 山崎 龍男 ・町田市町内会・自治会連合会 会長 長谷川 義剛 ・町田市町内会・自治会連合会 町田第1地区 会長 平本 勝哉 ・町田市町内会・自治会連合会 町田第2地区 会長 中 一登 ・警視庁町田警察署 警備課 警備課長 関口 裕之 ・町田消防署 警防課 災害対策調整担当課長 佐藤 雄輝 ・神奈川県相模原南警察署 警備課 警備課長 佐藤 勝也 ・相模原市 都市建設局まちづくり推進部交通政策課 課長 長澤 孝 ・相模原市南区役所地域振興課 課長 山本 克哉 ・専修学校 河合塾 河合塾町田校 校舎長 高見 大樹 ・野村不動産ライフ&スポーツ(株) メガロス町田 支配人 勇上 良輔 ・(株)東急百貨店 町田東急ツインズ 営業推進マネジャー 滝本 秀明 ・(株)ユニカ 町田ジョルナ 不動産事業本部 営業部営業課 課長 岡部 直人 ・(株)小田急百貨店 小田急百貨店町田店 店舗政策・運営部マネジャー 根岸 正樹 ・(株)ファーストリテイリング ミーナ町田 館長 小島 拓海 ・一般財団法人町田市文化・国際交流財団 町田市民ホール館長 井上 誠 ・株式会社町田まちづくり公社 (代理) 事業部長 富澤 茂雄 ・町田市 財務部財政課長 高野 徹 ・町田市 財務部契約課長 佐々木 啓 ・町田市 財務部市民税課長 清水 鉄夫 ・町田市 市民部市民総務課長 是安 智彦 ・町田市 文化スポーツ振興部文化振興課長 山田 雄介 ・町田市 経済観光部産業政策課長 村上 和久 ・町田市 生涯学習センター長 川瀬 康二 ・町田市 保健予防課母子保健担当課長 礪部 るりこ ・町田市 町田市立図書館長 本郷 剛 ・町田市 子ども生活部児童青少年課長 島崎 翔 ・町田市 町田市民文学館長 菊地原 裕 ・町田市 地域福祉部福祉総務課 福祉総務課長 太田 耕平 (欠席委員) ・相模原市危機管理局(防災計画担当) 担当課長 関口 康之 ・相模原市危機管理局(防災対策担当) 担当課長 滝口 明子 ・町田商工会議所 総務部 副部長 齋藤 大典 ・(株)レンブラントホテルマネジメント レンブラントホテル東京町田 営業部セールス課支配人 山本 貴央 ・(株)丸井 町田マルイ・町田モディ 施設管理担当部長 石川 雅道 ・(株)ルミネ ルミネ町田店 総務部長 佐藤 正志 ■オブザーバー ・東京都 総務局総合防災部防災管理課 防災事業推進担当 課長代理 山本 正弘

	・東京都 総務局総合防災部防災管理課 防災事業推進担当 原 奈美 ■事務局 町田市防災安全部防災課 防災課長 中坪 担当課長 井上 担当係長 清水 担当係長 齋藤 主任 山内 主任 廣瀬 主事 釵持 主事 吉田
1. 開会 ○ 事務局開会	
2. 挨拶 ○ 町田市防災安全部長 大貫 一夫 ・お忙しい中、ご参加いただきまして誠にありがとうございます。 ・この会議体は、昨年の２０２５年度から開催させていただいており、その前の２０１９年度から時間が空いての開催でした。皆様のお手元にある町田駅周辺エリア防災計画は、昨年度の会議にかけた内容を反映したものになります。今回や来年度以降の会議体を通して、様々な事象の変更を今後も反映していきます。 ・この町田駅周辺エリア防災計画の中において、一時滞在施設の地図を掲載しております。交番に配布するものですが、今後また変わっていく可能性も十分にあると思います。議論を重ねることにより良いものができるかと思っておりますので、活発なご意見をいただきたいと思えます。 ・町田市の中心市街地は、一日約４５万人が往来されています。その内の６千人くらいが滞在すると想定されていますので、そういった方が移動できるようになるまでの間、健康に過ごせるように、滞在施設という形を考えております。昨年度の一月に訓練をしておりますが、混乱せずに対応できるかという点をまた検証したいと考えております。 ・時間が決まっている中ではございますが、どうぞよろしくお願いいたします。 <各委員による自己紹介>	
3. 議題 町田駅周辺帰宅困難者対策について ○ 事務局説明 (資料１の説明) <意見・質疑> ○【会長 大貫部長】 本日、小田急と JR が来られているため、発災時の対応等を説明していただきたい。 ○【小田急電鉄(株)町田駅 管区長 溝呂木 広明】 BCP の想定を超えると、運転が中止になる。ケースバイケースではあるが、安全を確保できない場合、お客様を一時避難場所へご案内する。安全が担保できるなら、駅構内に居てもらうことも考えられる。 ○【東日本旅客鉄道(株)町田駅 駅長 曾我部 敬】 ほぼ小田急と同じではありますが、発災すると当然電車が動かなくなるということで、お客様	

を2階のコンコースへ誘導することになっている。

運転再開の部分で言えば、震度4以上の地震があると、線路内点検をしなければならない。徒歩巡回で行うため、30分で復旧ということはなく、数時間は掛かるということが内規で決められている。そんなに社員がいない中での運営となるため、お客様の安全の確保のため、コンコースに出てください。

飲料水や簡易トイレ等備蓄品を用意はしているが、数は多くなく、あくまで一時しのぎ分となっている。

→【会長 大貫部長】

神奈中における、災害時の連絡体制や乗客の人たちへの対応について教えてください。

○【神奈川中央交通㈱町田営業所 所長 笹間 貴徳】

災害発生時については、安全な場所に停車し、道路上であるため、お客様を降ろさないという決まりになっている。

→【会長 大貫部長】

災害時の警察の動きを教えてください。

○【警視庁町田警察署 警備課 警備課長 関口 裕之】

発災時は、消防署と連携して、命を守るということを最優先になろうかと思う。帰宅困難者に割ける人員というのは、かなり厳しいと認識している。一時避難場所の地図を置く、程度の対応はできるが、目の前の火災、事故、その他正に助けを求めている人を救出する活動がメインになる。

→【会長 大貫部長】

発災時には、神奈中バスの往来も含め、原町田大通りに人が滞留することが想定される。そういったことを加味した上での対策等はあるか。

○【町田消防署 警防課 災害対策調整担当課長 佐藤 雄輝】

大地震やこの前のような大規模な豪雨の際は、非常用の救急車を立ち上げて対応する。滞留者がいる関係で、救急車単体で行くと危ないため、ポンプ車と対になって動く。原町田大通りに着いたら、重傷者の対応を優先するため、トリアージを行い、軽傷者は一時滞在施設へご案内し重傷者は救急車にて搬送することになる。

→【会長 大貫部長】

災害が発生すると、現場指揮本部が立ち上がってくるため、小田急やJRと連携を取れると良いが、こういった会議体で顔の見える状況を作っておけば、何らかの連絡体制は構築できると考えている。

JRの南側については、相模原市の方になるが、一時的に避難する場所が相模原市側にあるわけではないため、できれば原町田大通りの方に来ていただき、そこから町田の方のシバヒロだったり、芹が谷公園というところがあったりするが、相模原市の方で何か考えていることはあるか。

○【相模原市南区役所地域振興課 課長 山本 克哉】

町田市とも今後協議をしながら、体制を整えていきたいと考えている。

→【会長 大貫部長】

町田市も市長が変わったということもあるため、相模原市と連携をさせていただきたいと思う。今までの話の中で、東京都は何かあるか。

○【東京都 総務局総合防災部防災管理課 防災事業推進担当 課長代理 山本 正弘】

やはり一番難しいのは、駅に人が滞留することだと思う。我々は、各区市町村さんと合同で訓

練を実施させていただいて、駅から一旦逃げさせていただいて、そこから一時滞在施設へいかにして流していくかが重要だと思うため、上手く連携をとって、流していくことができれば良いと考えている。

○【町田市町内会・自治会連合会 会長 長谷川 義剛】

一時滞在施設に避難していただいている人に向けて、JR や小田急が復旧した時に、そういった情報を伝達する仕組みが必要だと思う。

→【会長 大貫部長】

小田急や JR が復旧した時という話だが、災害対策本部が立ち上がっているため、そういった情報が出たら、そこから連絡員を派遣してお伝えする形になる。

→【東京都 総務局総合防災部防災管理課 防災事業推進担当 課長代理 山本 正弘】

少し補足させていただく。我々は、帰宅困難者対策システム（キタコン DX）を運用していて、鉄道運行状況や人流の混雑状況等がリアルタイムで分かるものになっているため、これを活用して帰宅困難者の方にお伝えしていただければと思う。

○【町田市町内会・自治会連合会 町田第1地区 会長 平本 勝哉】

地域として、避難所の開設の訓練等はしてきているが、帰宅困難者についてはあまり関わっていないというのが現状。地域として何かしなければならぬこと等はあるか。

→【会長 大貫部長】

町内会・自治会の自主防災隊の皆さんには、各避難所の運営をしていただければと思う。帰宅困難者を避難所へ案内するということもないため、地域住民の方には、地域の対応を優先していただければと思う。

発災時の行動ルールについて

○ 事務局説明

（資料2、3の説明）

<意見・質疑>

○【会長 大貫部長】

去年度も説明していただいたが、東急の滝本様より渋谷区の対応について説明していただきたい。

○【(株)東急百貨店 町田東急ツインズ 営業推進マネジャー 滝本 秀明】

渋谷区の事例だが、一旦は施設管理者が館内の被害状況を確認して、二次被害の危険がないか確認した上で、建物内に受け入れる。各商業施設等の施設は、BCP を策定はしているが、一時滞在施設をすぐには用意できないため、一時滞在施設の一時滞在施設というような、一旦安全な場所に案内し、一時滞在施設が用意出来たら案内する、という二段階の仕組みとなっている。

BCP もそうなんです、BCM も見直しをかけている状況でございます。

2026年度町田駅周辺帰宅困難者対策訓練について

○【東京都 総務局総合防災部防災管理課 防災事業推進担当 課長代理 山本 正弘】

港区訓練のご紹介

帰宅困難者対策フォーラムで使った資料の抜粋となる。この資料は協議会止まりとさせていただく。

今年の2月に港区と合同で訓練を実施している。品川駅周辺に帰宅困難者が多数滞留したこと

を想定した。港区を始め、鉄道事業者様、駅前滞留者協議会様が協力して、滞留者の安全確保や混乱防止のための取組について検証を行った。

具体的な訓練内容になるが、まず品川駅構内でシェイクアウト訓練を行った。その後、同じく駅構内で外国人を含む旅客保護を行い、実際にキタコン DX を使用して移動を開始していただき、一時滞在施設にて、実際に受入・運営を行った形となる。

○ 事務局説明
(資料4の説明)

→【会長 大貫部長】

訓練是非ご参加いただきたい。

昨年度、町田市民ホールにて訓練を実施したが、その際に何か気付いたことがあったら、教えていただきたい。

○【一般財団法人町田市文化・国際交流財団 事業部長 高坂 徹】

前回の訓練に参加して、全体的な指揮者の目線で行われていたと感じる。都度、職員の方に確認して動いていた。どう動くのかという情報が来なかった。

滞在施設へどういう連絡が来るのか、こういったことを訓練でやれたら良いと思う。

→【会長 大貫部長】

管理者目線で作っている部分があって、現場の方の目線が不足している部分があると思う。情報が来ないと、動けない部分があると思うため、そういった部分も勉強させていただきながら、検討していきたい。

→【事務局】

次回の2026年度町田駅帰宅困難者対策協議会は、来年の2月頃に開催予定。

時期が近づいてまいりましたら、またご連絡をさせていただく。

6. 閉会